

報道各位

イベント開催のお知らせ

地域×アート鑑賞会

# 未来のまつり、今日のまつり

2016年6月18日(土) 14:00~16:00 入場無料

～わたしたちのうた、わたしたちの踊りをつくるプロジェクト～



「フェスティバル FUKUSHIMA!納涼盆踊り 2013」より Photo.SHIGI Shizune

## 国内の伝統・民俗芸能の「今」を見る上映会を開催！

上映作品

岩戸の疱瘡踊り (鹿児島県鹿児島市)

六調 (鹿児島県徳之島)

フェスティバル FUKUSHIMA ! 納涼盆踊り 2013 (プロジェクト FUKUSHIMA より・東京都池袋)

吹上砂丘音頭 BonDance / FUKIAGE-SAKYU-ONDO 2012 山中カメラ (鹿児島県日置市)

にゅ～盆踊り 2015 オリジナル振付 近藤良平 出演：コンドルズ / 珍しいキノコ舞踊団 / プロジェクト大山 (東京都豊島区 あうるスポット) など多数。

かごしま文化情報センターでは、6月18日（土）に、各地の貴重なお祭りの映像を集めた鑑賞会を行います。この企画は、2015年より、わたしたちの住むまちに改めて焦点をあて、その魅力、そして、現代の状況を共有しながら、新しいうたや踊りを制作する試み「わたしたちのうた、わたしたちの踊りをつくるプロジェクト」の一環で、振付家 / ダンサーの手塚 夏子をナビゲーターに、古くから伝承されるうたや踊り、近年のアートフェスティバルで手がけられる盆踊りの制作などの民俗芸能の映像を鑑賞するものです。

## 地域の芸能から見るまちの記憶

この鑑賞会では、県内外のさまざまな貴重なお祭りの映像を上映。例えば郡山地域の「花尾神社 秋の大祭」で奉納されてきた「岩戸の疱瘡踊り」や、徳之島の「六調」など長い時間をかけて受け継がれてきた地域の伝統芸能の数々。また、吹上町の「吹上ワンダーマップ」で行われた「吹上砂丘音頭 BonDance」（山中カメラ）や、東京都池袋でコンテンポラリーダンサーを中心に行われている「にゅ〜盆踊り 2015 振付：近藤良平」、そして、NHKドラマ「あまちゃん」の作曲で知られる音楽家 大友 良英が、坂本 龍一やダンスカンパニー 珍しいキノコ舞踊団ら、名だたるアーティストと手がける「プロジェクト FUKUSHIMA!」で制作した「フェスティバル FUKUSHIMA! 納涼盆踊り」の映像など、新旧バラエティーに富んだ各地の踊りを見ることができます。

これらの映像を通して古来から現代まで、その時代を生きる人々は、踊り、うたい、身体で表現をし、人々と交流して、それぞれの社会のなかで重要な事柄を共有して生きてきた一、そのことを強く感じることができるでしょう。

なお、本鑑賞会では映像を観た後に希望者を募り、引き続き手塚 夏子を講師に、秋に向けて「**未来のまつりをつくるワークショップ**」を重ね、わたしたちの新しい“芸能”の制作に挑みます。（詳細添付）



上：岩戸の疱瘡踊り（鹿児島市花尾町）

写真：Richard Byers

下：にゅ〜盆踊り 2015

オリジナル振付：近藤良平 写真：涌井直志

鹿児島の魅力や現状を、いまを生きる人々はどのように感じているのでしょうか。ぜひこの機会に、本企画を貴媒体にてご紹介いただけますようお願い申し上げます。



### 手塚 夏子（振付家 / ダンサー）

神奈川県横浜市生まれ。福岡県糸島市在住。1996年よりマイムからダンスへと移行しつつ、既成のテクニックではないスタイルの試行錯誤をテーマに活動を続ける。2001年より自身の体を観察する「私的解剖実験シリーズ」始動。体の観察から人と人の関わりを観察まで視座を広げ、実験的な作品を発表している。2010年より民俗芸能を調査する試み「Asia Interactive Research」を始動。2011年には関連するプログラムとして民俗芸能調査クラブを立ち上げ、NPO法人 ST スポット横浜と共に継続して調査に取り組む。2013年に関東から福岡へ活動拠点を移す。

### 開催概要

1. 日 時：2016年6月18日（土）14:00～16:00
2. 定 員：30人 ※要申込み
3. 入 場：無料
4. 対 象：アート、伝統・民俗芸能、地域のコミュニティづくりのあたらしい取り組みに興味のある方
5. 会 場：かごしま文化情報センター（KCIC）
6. お申込・問合せ：かごしま文化情報センター（KCIC）TEL：099-248-8121 MAIL：[information@kcic.jp](mailto:information@kcic.jp)  
鹿児島市易居町1-2 鹿児島市役所みなと大通り別館1F（開所時間：10:00～18:00 ※日・水曜休所）  
来所、電話、またはメールにて、講座名「未来のまつり、今日のまつり」と、必要事項（お名前、年齢、住所、電話番号、メールアドレス）をお伝えください。  
※内容に関する広報のお問合せ、また取材につきましては、電話またはメールでご連絡をお願いします。

主 催：文化薫る地域の魅力づくり実行委員会、鹿児島市  
企 画：かごしま文化情報センター（KCIC）  
一般財団法人 前川報恩会 平成28年度 地域振興助成事業

## 未来のまつりをつくるワークショップ

---

古来から伝わる伝統・民俗芸能は、そもそも、その地の、そしてその時代の状況を表現し、または災いから逃れる等のために“奉納”するべく形にしたもの。日本で古くは奈良時代の能楽もそのひとつに数えられ、親しみやすいものでは神社で行われる夏祭りや田植え時期のお祭りもあります。一方、昨今は、数々のアートフェスティバルでも、アーティストと地域の人々が盆踊りを作り、新しくその地に住む人々と夏祭りで奉納するなどといった活動も頻繁に行われ、現代の社会でも注目されています。

そこで、かごしま文化情報センターでは、2015年より、振付家 / ダンサーの手塚 夏子を招いて「わたしたちのうた、わたしたちの踊りをつくるプロジェクト」に取り組んでいます。これは、わたしたちの住むまちに改めて焦点をあて、その魅力、そして、現代の状況を共有しながら、新しいうたや踊りを制作する試みです。

2016年は、参加者のみなさまと身の回りのことを話し合い、うたや踊りにすることで、社会を異なる眼差しで見つめるワークショップを連続で開催。一連のワークショップを通してできた新しいうたと踊りは、秋に発表・撮影し、その映像は、異なる地域の方や後世へと伝える“いまを記録する”アーカイブ映像にし、発信します。多様な伝統・民俗芸能を見てきた手塚 夏子とともに、わたしたちの地域について、または、いまの社会について話し合い、新しいうたと踊りを作ってみましょう。



リサーチの様子 撮影:手塚 夏子

---

### ワークショップ日程：

会 期： 7月～月1回を予定

※開催日時は、追って応募いただいた皆さまに直接ご連絡します。

会 場： かごしま文化情報センター (KCIC) ほか

講 師：手塚 夏子 (振付家 / ダンサー)

料 金： 無料 (20名程度)

助 成：一般財団法人 前川報恩会 平成28年度 地域振興助成事業 (ワークショップ)

公益財団法人 福武財団 (発表会)

主 催： 文化薫る地域の魅力づくり実行委員会、鹿児島市

企画制作：かごしま文化情報センター (KCIC)